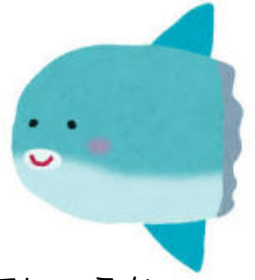


まんぼう通信

平成27年11月1日 No.13



皆さん、こんにちは。朝夕冷え込む季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。わたし達は気仙沼での2年目の冬に向け、心の準備を整えているところです。さて、冬は感染症の怖い季節です。今回は、冬季感染症のなかのノロウイルスについてお知らせします。インフルエンザも12月から流行してきますので、こちらにも注意しましょう。

【冬季感染症】

ノロウイルスは毎年流行し、命を危険にさらす非常に怖い感染症です。ここでは、ノロウイルスの特徴について記載します。「予防方法」と「感染時の対処方法」は別紙をご参照ください。

『流行時期』 11月から流行が始まり、12～1月がピーク。

『症状』 嘔吐、下痢、腹痛、発熱（37～38度が多い）

『感染経路』 ①経口感染：加熱しない2枚貝。感染者が調理した食べ物など。②飛沫感染：感染者の吐物や便から。



《学会発表をしてきました》

10月1日～3日に神戸で行われた、リハビリテーション・ケア合同研究大会で発表を行ってきました。大島での訪問リハビリの活動報告を通して、医療・介護資源が少ない地域、中山間地域での「連携の重要性」、「訪問リハビリの重要性」「事業所の課題」等について話し、他の職種の方からの理解も得られました。活動の振り返りや課題の整理、また、事業所のことを外部に発信する、良い機会となりました。

【新規依頼受け付け『一時中断』のお知らせ】

現在、訪問リハビリの利用者さんの人数が多く、新規の受け入れが困難な状況です。そのため、新規の受け付けを一時、中断させていただいております。受け付けを再開する際は、通信等を通じて連絡させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

